

せいの 恵子

清野 けいこ

Profile

- ▶ 1973年、北区滝野川に生まれる
- ▶ 滝野川第三小、滝野川中(現 滝野川紅葉中)、都立向丘高卒。文京区役所勤務を経て、和光大、都立看護専門学校に学び、看護師に。都立豊島病院精神科勤務ののち千葉大に編入学、保健師の資格を得る。さらに民間の病院等を経て台東区役所に入職。医療・介護・保育の現場で専門職として働く
- ▶ 北区議会議員1期。区民生活委員会副委員長、健康福祉委員会副委員長などを歴任。保護司としても活動
- ▶ 家族は夫と2女
- ▶ 活動地域は、滝野川、王子1丁目1～3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目
- ▶ 趣味は読書、歌うこと、手織り

お祭り大好き



応援します

新日本婦人の会会員・滝野川在住

磯村 優子



初当選してから4年間、私たちの声を区政に反映させようと疾走してきたせいの恵子さんを目の当たりにしてきました。
暗くなるまで相談者の話に耳を傾け、医療現場で理不尽な働き方を強いられている人には保健師としての知識と経験をもとにアドバイス。議会では、「生理の貧困」問題を取り上げ、区内小・中学校の女子トイレに生理用品が置かれることになりました。せいのさんは議会に必要な人です。ご存知ない方にもぜひ知ってほしいです。せいのさんと一緒に、誰もが生きていて良かったと思える北区に変えていきましょう。

新しい北区 2023年2月号外

発行/新しい北区社(北区中十条3-5-15)

日本共産党北地区委員会は、上記のお知らせを発表しました。このチラシに関するお問い合わせは、電話 3906-2821 FAX 3906-3225まで

日本共産党 区議会議員

せいの 恵子

清野 けいこ



せいの恵子
ホームページ

<https://keiko-seino.com/>



いつも全力!
一人ひとりの声に本気で寄り添う

長びくコロナ禍や物価高騰が暮らしを直撃しています。
貧困や格差、生きづらさの中から寄せられる数々のご相談は、
どんなに小さなことでも、一つひとつがその人にとって大切なこと。
私は、いつでも身近な相談相手でありたいと、全力で活動しています。
これからも一人ひとりに本気で寄り添い、
その声を区政に届けていきます。

生きづらさと 「自己責任」のりこえ、 多様な生き方を サポート

せいの恵子
1期目のしごと

看護師・保健師として、精神科の現場で働いてきた経験から、生きづらさを抱える人たちには人一倍心を寄せ、議会初質問では、精神障がい者の地域自立支援の問題を取り上げました。また、ひきこもりやヤングケアラー、性的マイノリティなど、声を上げにくい人々への支援の拡充を求めてきました。競争と分断の中で「自己責任」を押しつける社会から、国や自治体が公的役割をしっかりと果たし多様な生き方をサポートする社会へと、みなさんと一緒に政治を変えていきます。



01 生理用品の 無料設置を実現

学校や
区庁舎へ

コロナ禍の下、経済的理由などで生理用品を入手できない「生理の貧困」が社会問題に。私は、北区議会で初めてこの問題を取り上げ、学校などへの生理用品の無償設置を求めました。2021年4月には、「#みんなの生理」共同代表とともに、子育て議員連盟として区長に要望書を提出。これが実り、防災備蓄用生理用品の無料配布、区立小中学校トイレへの生理用品設置、区役所トイレへの無料ナプキンディスプレイ設置が実現しました。



02 ヤングケアラー支援 議会で真っ先に要請

大人の代わりに家族の介護やケア、身の回りの世話をする子ども、ヤングケアラーが増えています。「自分の時間や勉強の時間がない」「友だちと遊べない」など影響が出ているにもかかわらず、当事者が声を上げることは難しく、社会から見過ごされてきました。私は、ヤングケアラー問題を議会でいち早く取り上げ支援を要請。区は今後の区民意識調査で実態把握を計画化、校長会や民生委員児童委員協議会、ケアマネジャーの会などでも周知・説明を行うなど、対策に踏み出しました。

さまざまな生き方を
サポートする社会へ



パート
ナーシップ
宣誓制度
創設

区民の声で
一歩前進

精神障害
にも対応した
地域包括ケア
システム

包括的
性教育の
充実

困難を
抱える女性の
LINE相談

実現
しました!

学校給食の
完全無償化

措置入院者
への
退院後支援

家族と
連携した
ひきこもり相談
支援を開始

地域の声をまっすぐ区政へ。

せいの恵子のお約束



1 貧困・格差の是正、暮らしと営業をしっかりと応援

- 消費税は5%へ減税し、インボイス制度は中止に
- 男女賃金格差を是正、最低賃金は時給1500円に引き上げ
- 補聴器助成、低所得者等へのエアコン助成の早期実現
- 高すぎる国保料・介護保険料の負担を軽減
- 保育士・介護士等の処遇改善、医療・介護の負担軽減を

2 子育て・教育、ファミリー世帯や若者の経済的負担を軽減

- 単身者や若者・子育て世帯への家賃補助制度を創設
- 学費は半額に、返済不要の給付型奨学金を拡充
- 子ども・若者の相談体制の強化、居場所づくりを推進

3 多様性を認め合うジェンダー平等の北区へ

- 子どもの生きる力、性的自己決定能力を育む包括的性教育の推進
- 困難を抱える女性への支援拡充
- パートナーシップ宣誓制度をファミリーシップ制度へ拡充
- 選択的夫婦別姓の実現

4 住まいと環境を支えるまちづくり

- 北区に2500戸ある都営住宅の空き家を新規募集へ
- 庁舎、学校、区民施設の電力を100%の再エネ由来に
- 区民・事業者の再エネ・省エネ機器導入助成を拡充
- ごみの減量・資源化、食品ロス対策、脱・廃プラを推進
- 滝野川地域にコミュニティバス新規路線を

対談

本気で寄り添ってくれる議員がいて良かった!

Aさん：出会いは中学一年生の時。せいのさんが教育実習で学校に来ました。その後、ケガで入院した時には、お見舞いに来てくれ嬉しかった。

せいの：私が区議になる時に滝野川で再会しましたね。

Aさん：私は20代半ばに交通事故で大ケガをし、後遺症を抱えながらちゃんと働いていたのに、嫌がらせて退職に追いやられました。今言うパワーハラですよ。

せいの：大変でしたね。

Aさん：理不尽な退職にあい、生活や次の仕事をどうしようかと調べたけど、手続きがわからない。すぐに、せいのさんに相談し、どういう支援があるかとか、どこに相談にいけばいいとか教えてもらって、ようやく暮らしが落ち着きました。せいのさんに巡り合えてよかった。先輩として、お姉ちゃんのように思ってなんでも相談しています。

せいの：私は障害のある人をはじめ、誰もが地域で暮らしやすい、生きやすい社会にしたいと思って看護師や保健師をめざした。その思いは区議になっても同じ。困っている人に制度や行政の手続きなどを伝え、支援につなげるのが議員の役割だと思っています。区議を身近に感じて、声をかけてもらえる存在になりたいですね。

Aさん：議員は近寄りたがっていたけど、せいのさんと出会って、本当に親身に相談にのってもらえた。私だけじゃなく、誰もが辛いことを抱えている。みんなに「我慢しないで相談していいんだよ」って伝えたい。ずっと議員を続けてもらいたいし、応援しています。

党をつくって100年。日本共産党がブレない理由

外交で平和を求める

軍事費倍増ではなく、憲法9条を生かした外交の力で平和をめざします。

独裁はいらない

旧ソ連、中国は社会主義とは無縁。どんな国の覇権主義も許しません。

国民がスポンサー

企業・団体献金を一切受け取らないからこそ大企業の横暴をただせます。

民意を反映した政治へ

国民多数の合意で、平和的に一步一步社会を変える方針を堅持しています。

お困り事があれば、**ためらわずにご相談を**

せいの恵子事務所：北区滝野川3-56-7
メールアドレス mail@keiko-seino.com

電話 **070-3531-0812** 携帯 **03-3949-6115** 事務所